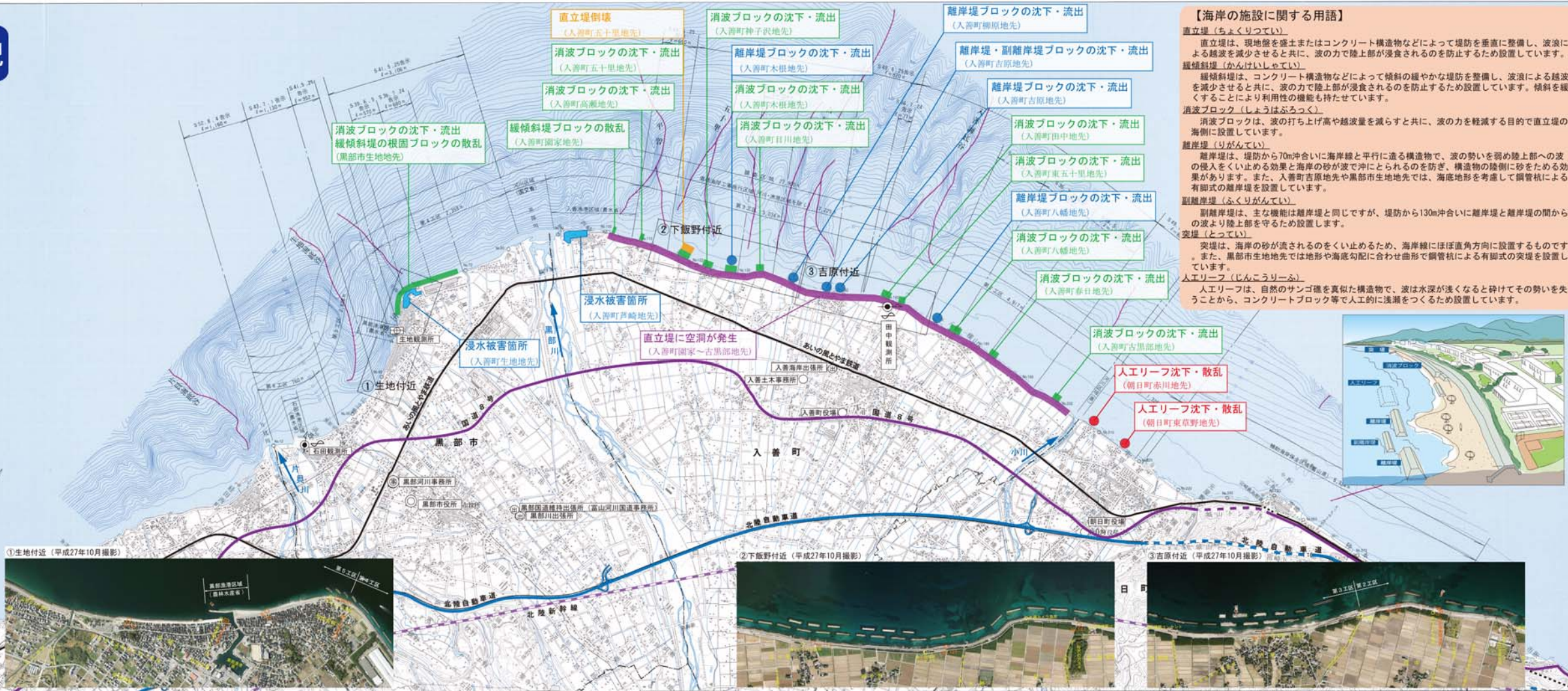


○下新川海岸の主な施設被災状況



凡 例	
● (Red)	人工リーフ沈下・散乱
● (Blue)	離岸堤（副離岸堤）ブロックの沈下・流出
■ (Green)	消波ブロックの沈下・流出
■ (Yellow)	緩傾斜堤ブロックの散乱
■ (Orange)	直立堤倒壊
■ (Purple)	直立堤に空洞が発生
■ (Light Blue)	浸水被害箇所

凡 例（観測所）	
🌀	風向風速観測
🌊	海象観測
📏	潮位観測



【海岸の施設に関する用語】

直立堤（ちよくりつてい）
直立堤は、現地盤を盛土またはコンクリート構造物などによって堤防を垂直に整備し、波浪による越波を減少させると共に、波の力で陸上部が浸食されるのを防止するため設置しています。

緩傾斜堤（かんけいしゃてい）
緩傾斜堤は、コンクリート構造物などによって傾斜の緩やかな堤防を整備し、波浪による越波を減少させると共に、波の力で陸上部が浸食されるのを防止するため設置しています。傾斜を緩くすることにより利用性の機能も持たせています。

消波ブロック（しょうはふろく）
消波ブロックは、波の打ち上げ高や越波量を減らすと共に、波の力を軽減する目的で直立堤の海側に設置しています。

離岸堤（りがんてい）
離岸堤は、堤防から70m沖合いに海岸線と平行に造る構造物で、波の勢いを弱め陸上部への波の侵入をくい止める効果と海岸の砂が波で沖にとられるのを防ぎ、構造物の陸側に砂をためる効果があります。また、入善町吉原地先や黒部市生地地先では、海底地形を考慮して鋼管杭による有脚式の離岸堤を設置しています。

副離岸堤（ふくりがんてい）
副離岸堤は、主な機能は離岸堤と同じですが、堤防から130m沖合いに離岸堤と離岸堤の間からの波より陸上部を守るため設置します。

突堤（とつてい）
突堤は、海岸の砂が流されるのをくい止めるため、海岸線にほぼ直角方向に設置するものです。また、黒部市生地地先では地形や海底勾配に合わせ曲形で鋼管杭による有脚式の突堤を設置しています。

人工リーフ（じんこうりふ）
人工リーフは、自然のサンゴ礁を真似た構造物で、波は水深が浅くなると砕けてその勢いを失うことから、コンクリートブロック等人工的に浅瀬をつくるため設置しています。



平成 30 年 3 月 作成

この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の5万分1地形図を複製したものである。（承認番号 平29北様、第44号）
なお、この複製品を第三者がさらに複製する場合は、国土地理院の長の承認を得なければならない。

国土交通省北陸地方整備局 黒部河川事務所